



高浜原発四号機でトラブル 原因不明

二月二十五日、関電本店前「再稼働阻止」全国行動



2月25日 関電本店に抗議

この日、高浜原発四号機再稼働に反対して、関西電力本店前に全国から三〇〇人が集まり、抗議の声を上げました。

この抗議行動の主催者である「高浜原発四号機再稼働阻止！緊急行動実行委員会」が、事前に関西電力に、抗議申し入れについてアポを取ろうとしたところ、関電側は拒否。集会の第一部でこの報告をした代表は、対応を拒否した関電に向かい、マイクで、「すでに動いている三号機の停止、お

よび四号機を再稼働させないこと」を訴える申し入れ書を読み上げました。その後、参加者全員で、関電に向かって「関電は話を聞け」「申し入れ書」を受け取れと迫りました。

最終的には「申し入れ書」を警備員が受け取り、担当部署に持って行きました。

この日は第一部、第二部合わせて三〇〇人の参加がありました。関西はいうに及ばず首都圏や鹿児島からも参加があり、一日も早い原発停止を訴

えました。

終わりに主催者を代表して発言した木原壮林さんは、四号機で早くも汚染水漏れがあったこと、その原因は老朽原発に起因すると訴えました。そ



二月二六日 高浜原発に向かって抗議

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

して翌二六日の高浜現地
闘争への参加を呼びかけ
ました。

二月二十九日、

四号機 緊急停止

二十九日、報道陣の目の
前で警報が鳴り響きまし
た。高浜四号機で発電と
送電を始める作業をした
ところ、発電機と変圧器
の異常を知らせる警報が
鳴って、発電機が自動停
止。これを受けて、原子
炉も自動で止まったとい
うものです。原因はまだ
分かっていません。しか
し、四年七ヶ月止まって
いた原発です。トラブル
なく動く方が不思議では

ないでしょうか？

老朽原発の問題点

- ・高温、高放射線にさらされた配管等の腐食
- （とくに、溶接部）は深刻。電気配線の老朽化も問題。
- ・コンピュータ制御、機器測定をしているが、コンピュータや計測機器は建設時とは全く異なっている。原子炉の大部分はそのままにして、これらの部分のみ交換。
- ・建設時には適当とされたが、現在の基準では不相当と考えられる部分は多数あるが、全て

が見直され、改善され
ているとは言えない。
例えば、基準地震動の
過小評価 安全系と一
般系のケーブルの分離
敷設の不徹底。

- ・建設当時の記録（図面など）が散逸している可能性があり、メンテナンスに支障。

- ・建設当時を知っている技術者はほとんどいないので、非常時、事故時の対応が難しい。

- ・とくに、ウラン燃料対応の老朽原発でMOX（ウランとプルトニウムの混合）燃料を使用することは炉の構造上問題。

そもそも原発はベテランがいらない作業現場と言わなければなりません。その理由は被曝です。

一回の作業時間が五分、一〇分という現場ですから、技術を継承することは難しく、また一定の放射線量に達した作業員は離れなければなりません。

ですから、計器を見なければいいような中央制御室はどうか知りませんが、現場は素人が手作業で行っているのです。労働者が被曝しないといけないような原発は一日も早く廃炉にしましょう
アート・アド分会 N